

不良少女入門



[不良少女入門_下载链接1](#)

著者:[日] 寺山修司

出版者:大和書房

出版时间:2004-4-5

装帧:B6判

isbn:9784479391081

古本市へ出かけて、見つけさえすれば古い少女雑誌を買ってきた。

「少女画報」「少女倶楽部」「少女世界」のページをめくると、懐かしい「少女」のイメージが立ちのぼった。

ギャルとかマドモアゼルと呼ばれる現代の女の子とは全くべつの、少女たちが、そこにいたのだ。

私は、そうした少女たちが好きだった。

だが、彼女たちはもう、どこにも存在しないのだ。

あの繊細で叙情的で、そこはかとないエロチシズムをたたえた少女たちは、一体どこへ行ってしまったのであろうか？ 感応せよ！ 触れるもの全てを詩に変えた天才・寺山修司の多面的世界。

わたしが娼婦になったなら一曲馬団エレジー

ヒロイン登場一みどりの黒髪断ちきって

ぼくが映画少年だったころ一まぼろしの少年少女をさがして

開幕のベルが鳴る一暗闇のおたのしみ

恋人たちの囁き一思い出のキネマ名画館

言葉の宝石をさがして一キネマのなかの名セリフ

少女コレクションーぼくの愛した女たち

作者介绍:

寺山修司〔テラヤマシュウジ〕

1935年、青森県生まれ。十代で俳句や短歌を作りはじめ、19歳のとき「チエホフ祭」にて「短歌研究」新人賞を受賞。二十代前半に青春詩集『われに五月を』、第一歌集『空には本』を著す。その後、『現代の青春論（家出のすすめ）』『書を捨てよ町へ出よう』等のエッセイを次々に出版。1967年、演劇実験室「天井桟敷」を設立、『青森県のせむし男』を上演。アンダーグラウンド演劇の牽引者として伝説的な一時代を作り出し、世界的名声を得る。詩人、歌人、作詞家、劇作家、映画監督、作家、エッセイスト、競馬評論家として、さまざまな領域で天才的な才能を発揮し、旺盛な創作活動を行う。1983年5月、47歳で急逝。その作品世界は没後二十余年を経た今も若い世代を中心に支持を得ている

目录:

[不良少女入門_下载链接1](#)

标签

寺山修司

日本

日本文学

随笔

诗歌

参考

评论

5/9/18

好多个人排名...后记是美伦明宏写的

[不良少女入門_下载链接1](#)

书评

[不良少女入門_下载链接1](#)